



「地域おこし協力隊」
さまざまな分野で活躍中！

地域おこし協力隊とは

地域おこし協力隊は、都市部などから地方へ生活の拠点を移した人を、地方公共団体が隊員として委嘱する制度です。隊員は1年から3年の任期で、地域ブランドや地場製品の開発・販売・PR、農林水産業への従事、住民への支援など、さまざまな地域協力活動に取り組みます。活動を通して地域とのつながりを深め、任期終了後の定住・定着を目指します。

加賀市ではたくさんの地域おこし協力隊が さまざまな活動を行っています

現在、加賀市では17人の地域おこし協力隊が、それぞれの経験や得意分野を生かし、地域の活性化や魅力の発信に取り組んでいます。

加賀市の地域おこし協力隊について

これまで、52人の地域おこし協力隊が着任し、地域の活性化や魅力発信など、さまざまな分野で力を発揮しています。このうち35人が任期を終え、任期後も18人が加賀市に定住。定住率は約51%となっており、地域との関わりをきっかけに、加賀市で新たな暮らしを築く人の輪が広がっています。

＼ 任期を終了しても加賀市を盛り上げています ＼

加賀市に定住し、さまざまな分野で、今も活躍を続けています。



IT教育の支援

アンティーク雑貨の
販売



農家＋焼き鳥屋

地域のイベント
コンサルタント

